

令和5年度

(令和4年度事業対象)

教育委員会事務の点検・評価

報告書

北竜町教育委員会

目 次

1.趣 旨	1
2.点検・評価の対象	1
3.点検・評価の実施方法	1

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

1.学校教育の充実	2
2.生涯学習の充実	8
3.青少年の健全育成	10
4.芸術・文化の振興	11
5.スポーツの振興	13

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の開催状況	15
(2) 条例、規則等の制定及び改定の状況	15
(3) 教育委員の活動状況	16
(4) 令和4年度 北竜町教育委員会議案一覧表	22

令和5年度（令和4年度事業対象）生涯学習推進事業・社会教育 ・芸術文化事業・社会体育事業 自己点検・評価一覧表

(1) 生涯学習推進事業	25
(2) 社会教育	26
(3) 文化芸術	29
(4) 図書館	30
(5) 社会体育	31

外部評価（活動評価委員）意見総評（令和4年度事業）	35
---------------------------	----

1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会は、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっています。

北竜町教育委員会は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため毎年度、教育委員会事務の点検・評価を行い、学識経験者の意見を付して報告書を作成・公表することといたしました。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2. 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等の点検のほかに、令和4年度教育行政執行方針に掲げた主要な事業実施状況について点検・評価を実施いたしました。

3. 点検・評価の実施方法

点検・評価報告書については、令和4年度教育行政執行方針に掲げられた主要な事業及び各事業の基本施策に基づく、内容、成果、自己評価・課題等を所管係が作成するとともに、点検・評価の客観性を確保するため、点検評価方法や結果などについて、学識経験を有する者（活動評価委員）からも意見を聴取しています。

評価ランク

- A ～ 充分達成した
- B ～ 概ね達成した
- C ～ やや達成した
- D ～ 達成に向けて努力している
- E ～ 取り組み無し
- ～ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により実施できなかった

社会教育、社会体育事業の自己評価一覧表 評価ランク

- 5 ～ 充分達成した
- 4 ～ 概ね達成した
- 3 ～ やや達成した
- 2 ～ 達成に向けて努力している
- 1 ～ 取り組み無し
- ～ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により実施できなかった

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>1. 学校教育の充実</p> <p>1) 学校教育の充実</p> <p>ア) 確かな学力の育成と特色ある教育の推進</p> <p>イ) 豊かな心の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から中学校までの9年間を一つの学びと捉え、一貫した教育を推進するよう努めた。 ・全国学力・学習状況調査や各学力テストなどの結果を分析し、学校改善プランを作成するなど、基礎学力の定着・向上に努めた。 ・中学校での各定期テスト期間を小学校でも家庭学習に力を入れる期間として、家庭学習を推進した。 ・中学3年生による修学旅行（旅行先：沖縄県）において、ひまわりライスの販売体験や戦争教育を実践し、郷土愛の育成と平和の尊さ等について学習した。 ・「世界のひまわり」学習の実践により、観光客とのコミュニケーションを通じ「ふるさと愛」を育んだ。 ・優秀な生徒には、夏休み期間を利用しての海外留学を推奨し、中学生短期語学留学助成事業を実施した。 ・スポーツアスリートによる「夢の教室」事業を実施し夢や目標を持つということの大切さについて学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒並びに教職員の交流を推進し、「いじめ根絶集会」や「世界のひまわり」等の行事も連携し「中1ギャップ」をなくすよう努めていく。 ・学力や学習状況の評価・分析をもとにした授業改善や教育振興会等の研究活動など、教職員の実践指導力を高める取組の充実に努めていく。 ・家庭学習の仕方について保護者・児童への周知を図り、家庭学習強化週間の実施と取組状況を把握する。 ・「修学旅行費助成事業」を活用し保護者の負担軽減を図った。今後も継続して実施していく。 ・播種から草取りなどの管理や看板やのぼりの作成など地域の教材や学習環境を積極的に活用した学習活動を継続して行っていく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航環境が整わず留学出来なかった高校生2名を対象として短期語学留学を実施した。 ・2004年アジアジュニア陸上女子3000mで優勝するなどの活躍をした湯田友美氏を講師とし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで実施した。 	<p>A</p> <p>A</p>

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>ウ) 健やかな体の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的ないじめアンケートを実践することにより早期発見、早期対応に努めた。 ・スクールカウンセラー制度を有効に活用し、心の問題に関する相談や指導等に努めた。 ・小中学校の連携による「いじめ根絶集会」を実施し交流を図った。 ・町保健師の協力により、人権教育や福祉教育等の実践を図った。 小学校 小4「福祉教育講座」 小4「認知症ポスター養成講座」 中学校 中2「認知症ポスター養成講座」 中3「がん教育講座」 ・北竜町いじめ防止対策基本方針に基づき、いじめ対策連絡協議会を年2回開催し、いじめに関する情報交換及び協議を行った。 ・全国体力運動能力テストの結果を分析し、改善ポイントを積極的に体育授業に取り入れると共に、部活動及や少年団活動を通じて体力の向上や運動の習慣化を推進した。 ・小中共にフッ化物洗口を実施し、歯の健康維持に努めた。 ・「早寝、早起き、朝ご飯運動」など望ましい生活習慣の定着を進めた。 ・北空知圏学校給食組合と連携し、地場産食材を取り入れた安心安全な完全給食の実施、並びにアレルギー事故防止に努めた。 給食組合負担額及び給食費助成の状況 北空知圏学校給食組合負担金 10,778 千円 小学校児童給食費助成金 2,233 千円 中学校生徒給食費助成金 1,877 千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して実施していく。 ・健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんや認知症に対する正しい知識と患者に対する正しい認識をもてるよう今後も継続して実施していく。 ・各種情報の共有を図り、学校・教育委員会及び地域との連携を深め、地域全体でいじめの未然防止・早期発見に努めていく。 ・家庭でできるエクササイズや体力向上トレーニングなど幅広く取り組める方法を検討し、健康な体の育成に努める。 ・今後も継続して実施していく。 ・今後も継続して実施していく。 ・給食費の無償化を継続していく。給食センターの協力を得て、食育教育など活用を図っていく。 	<p>B</p>
<p>エ) 社会に開かれた教育課程の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教育として、英語指導助手を配置するとともに、小学校へ英語教員を配置するほか、英語の公設学習塾を開設した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会に対応できる人材の育成のため、引き続き外国語指導助手を小中学校、学童保育及び保育所へ派遣を行う。 	<p>A</p>

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価																
<p>オ) 関係機関との連携</p>	<p>・GIGA スクール構想のもと、一人一台端末を有効的に活用した授業体制の構築とオンライン授業の実現に努めた。</p> <p>・保育士、各校（教頭、特別支援コーディネーター教諭）、町保健師等からなる専門部員（北竜町特別支援連携協議会専門部会や児童生徒情報共有会議）メンバー等と連携し、適切な就学相談や指導業務に努めた。</p> <p>・学習活動のサポートとした学習支援員や特別教育支援員を小学校に配置した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校</td> <td style="padding-left: 20px;">学習支援員</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-left: 20px;">特別教育支援員</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> </table>	小学校	学習支援員	1名		特別教育支援員	1名	<p>・小学校の時間講師も、児童が外国語を学ぶために非常に有効であり継続していく。</p> <p>・英語の公設学習塾は、英検受験者の増加など、学習習慣定着化の一端を担えている。英語力の向上のため引き続き、塾内容の充実に務めていく。</p> <p>・ICT 機器や AI 教材などを有効活用し、一人一人の理解度や習熟度に応じた個別最適な学びを実現するため、教員研修の充実を図る。</p> <p>・特別支援が必要なケースが発生した場合には、北竜町特別支援連携協議会にてきめ細やかな対応を行っていく。</p>	<p>A</p>										
小学校	学習支援員	1名																	
	特別教育支援員	1名																	
<p>カ) その他</p>	<p>・児童生徒の個々に応じた適正な学習機会ときめ細やかな教育が実践されるよう、各校に特別支援学級を設置した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校</td> <td style="padding-left: 20px;">2学級（情緒・言語）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校</td> <td style="padding-left: 20px;">2学級（知的・肢体）</td> </tr> </table> <p>・また、特別支援児童生徒就学援助を下記の通り推進した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校</td> <td style="padding-left: 20px;">7名</td> <td style="text-align: right;">623千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校</td> <td style="padding-left: 20px;">3名</td> <td style="text-align: right;">640千円</td> </tr> </table> <p>・経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒世帯に対し準用保護児童生徒就学援助を下記の通り推進した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校</td> <td style="padding-left: 20px;">1名</td> <td style="text-align: right;">117千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校</td> <td style="padding-left: 20px;">3名</td> <td style="text-align: right;">528千円</td> </tr> </table>	小学校	2学級（情緒・言語）	中学校	2学級（知的・肢体）	小学校	7名	623千円	中学校	3名	640千円	小学校	1名	117千円	中学校	3名	528千円	<p>・今後も必要に応じて、特別支援教育支援員等の配置を図り、関係者や関係機関と十分に連携しながら、相談・支援体制の充実に努めていく。</p> <p>・特別支援児童生徒の学用品等及び給食費の負担軽減を継続して行っていく。</p> <p>・準要保護児童生徒の学用品等及び給食費の負担軽減を継続して行っていく。</p>	<p>A</p>
小学校	2学級（情緒・言語）																		
中学校	2学級（知的・肢体）																		
小学校	7名	623千円																	
中学校	3名	640千円																	
小学校	1名	117千円																	
中学校	3名	528千円																	

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>2) 教職員の資質の向上</p> <p>ア) 教職員研修や研究活動の充実</p> <p>イ) その他</p>	<p>・その他児童生徒への助成事業状況 入学祝金事業 13名 650千円 修学旅行費助成事業 小学校 4名 40千円 中学校 7名 105千円 各種検定料助成事業 漢字検定 24名 31千円 英語検定 46名 115千円 奨学資金貸付事業 奨学資金 6,600千円 内訳 大学生 14名：短大生等 2名 特別奨学資金 1,500千円 内訳 大学生 4名：短大生等 1名</p> <p>・北竜町教育振興会等の取り組みを通じて、教職員の指導体制の充実を図るとともに、指導力向上に向けた研修会等を実施した。 また、教科毎等によるサークル研修を積極的に進め、その活動の成果を紀要にまとめた。</p> <p>・小中両校の外国語（英語）教諭の連携を図るべく、年4回情報交換会議を実施した。</p> <p>・学校における働き方改革を推進するアクションプランを基に教職員の働く環境の改善に取り組んだ。</p> <p>・学校管理者と密接に連携し、教職員の服務規律について指導監督を推進した。 ・教職員のメンタル的不調を未然に防止するためストレスチェックを実施した。</p> <p>・その他教職員への助成事業状況 校長会、教頭会助成金 170千円 教育振興会補助金 474千円 教職員健康診断負担金 362千円 教職員人間ドック助成 84千円 教職員ストレスチェック 53千円</p>	<p>・今後も継続して実施していく。</p> <p>・さらに教職員の専門性を高めるため研修会に積極的に参加できる体制づくりの支援を図る。 また学習指導要領の改訂による多様化する教育に対して対応できるよう継続して支援していく。</p> <p>・小中連携事業の一環として今後も継続し実施していく。</p> <p>・今後も継続して実施していく。</p> <p>・今後も継続的に実施していく。</p> <p>・多様化する教育に対して対応できるよう継続して支援していく。</p>	<p>A</p> <p>A</p>

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価																						
<p>3) 学校施設・設備の整備充実</p> <p>ア) 安全な学校の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染対策とした道の支援事業を活用し、校内における消毒作業等に従事していただける人材を配置した。 ・学校保健特別対策事業補助金を活用し、学校の感染症対策や児童生徒の学びを保障する体制の整備等を促進した。 ・子ども達が安心して学べる環境を整備するため、小中学校の普通教室等にエアコンを設置すると共に、消防設備等の定期点検を実施した。 <p>学校施設整備の主な改修状況</p> <p>小学校</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding-left: 20px;">外壁看板張替工事</td><td style="text-align: right;">297 千円</td></tr> <tr><td style="padding-left: 20px;">エアコン設置工事</td><td style="text-align: right;">15,213 千円</td></tr> <tr><td style="padding-left: 20px;">児童火災報知設備修理</td><td style="text-align: right;">883 千円</td></tr> <tr><td style="padding-left: 20px;">体育館庇屋根修理</td><td style="text-align: right;">176 千円</td></tr> <tr><td style="padding-left: 20px;">体育館暖房機修理</td><td style="text-align: right;">338 千円</td></tr> </table> <p>中学校</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding-left: 20px;">体育館床補修工事</td><td style="text-align: right;">2,156 千円</td></tr> <tr><td style="padding-left: 20px;">エアコン設置工事</td><td style="text-align: right;">9,031 千円</td></tr> <tr><td style="padding-left: 20px;">屋外トイレドア修理</td><td style="text-align: right;">281 千円</td></tr> <tr><td style="padding-left: 20px;">屋外給水管漏水修理</td><td style="text-align: right;">105 千円</td></tr> </table> <p>学校教材備品等の整備状況</p> <p>小学校</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding-left: 20px;">電子黒板 7台導入</td><td style="text-align: right;">4,015 千円</td></tr> </table> <p>中学校</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding-left: 20px;">電子黒板 4台導入</td><td style="text-align: right;">2,277 千円</td></tr> </table>	外壁看板張替工事	297 千円	エアコン設置工事	15,213 千円	児童火災報知設備修理	883 千円	体育館庇屋根修理	176 千円	体育館暖房機修理	338 千円	体育館床補修工事	2,156 千円	エアコン設置工事	9,031 千円	屋外トイレドア修理	281 千円	屋外給水管漏水修理	105 千円	電子黒板 7台導入	4,015 千円	電子黒板 4台導入	2,277 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の換気や消毒作業等を補助することにより教員の業務負担の軽減を図る。 ・感染症対策を実施するために必要な保健衛生用品の購入や網戸の設置など、児童生徒の安全安心な学習環境を確保しつつ教育活動の継続に努めた。 ・町の総合計画に沿って、年次的に改修工事など進めていく。急な故障等は児童生徒への安全性を都度判断し、必要な対処を実施していく。 <p>学校と連携し教材教具等の整備を図っていく。</p>	A
外壁看板張替工事	297 千円																								
エアコン設置工事	15,213 千円																								
児童火災報知設備修理	883 千円																								
体育館庇屋根修理	176 千円																								
体育館暖房機修理	338 千円																								
体育館床補修工事	2,156 千円																								
エアコン設置工事	9,031 千円																								
屋外トイレドア修理	281 千円																								
屋外給水管漏水修理	105 千円																								
電子黒板 7台導入	4,015 千円																								
電子黒板 4台導入	2,277 千円																								

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
イ) 施設の在り方に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、益々施設の老朽化が進む各校において、将来に向け施設整備方針とした公共施設再配置計画を策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度より2ヵ年かけ学校運営方針並びに複合施設の建設に向けた計画を策定する。 	B
ウ) ICT教育の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想のもと、一人一台端末を有効的に活用した授業体制の構築とオンライン授業の実現に努めた。（再掲） ・小中学校の電子黒板を導入し、よりICTを友好的に活用できる授業体制の整備に努めた。（再掲） 小学校電子黒板 7台導入 中学校電子黒板 4台導入 ・小学校における教職員用パソコンの計画的更新を行った。 小学校教職員用パソコン 16台導入 ※R3中学校 12台導入済 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に配置した電子黒板は教職員から高い評価を得ている。今後も効果的な活用事例を研究し、児童生徒の学習意欲を高めることができるよう努める。 ・町の総合計画に沿って、計画的な更新に努める。 	A
4) 開かれた、信頼される学校づくり			
ア) コミュニティ・スクールの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域との交流や、学校経営に関する評価を行い、地域に信頼された学校づくりを目指し、コミュニティ・スクール事業を推進した。 ・学校開放事業を実践し、少年団活動や地域住民に施設開放を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して実施していく。 	A
5) 総合的な子どもの安全対策の推進			
ア) 見守り活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策として、地域ボランティア活動とした「見守りサポーター」事業を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して実施していく。 	A
イ) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運行業務が安全且つ円滑に進められるよう業務委託先を連携し実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転と事故防止に努め、全町的な視点に立った児童生徒の通学対策に努める。 今後も利用対象児童生徒数や運行経路に合わせ、バスの車種や経路等を見直し効率的な運行が必要である。 	B

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>2.生涯学習の充実</p> <p>1) 社会教育施設の整備充実・有効活用</p>	<p>・今後、益々施設の老朽化が進む社会教育施設において、将来に向け施設整備方針とした公共施設再配置計画を策定した。</p> <p>社会教育施設整備の主な改修状況</p> <p>①公民館</p> <p>遊具修繕 27千円</p> <p>第3研修室窓硝子修繕 26千円</p> <p>誘導灯予備電池交換修繕 11千円</p> <p>大ホール分電盤用開閉器修繕 85千円</p> <p>②改善センター</p> <p>管理棟2階系統温水ポンプ修繕 61千円</p> <p>真空式温水ボイラー修繕 185千円</p> <p>芝刈機修繕 19千円</p> <p>卓球台修繕 11千円</p> <p>体育館床フローリング張替工事 30,965千円</p> <p>③生きがいセンター</p> <p>ルーフドレン修繕 61千円</p> <p>物置天井裏配管修繕 253千円</p> <p>自動火災報知・防火設備修繕 62千円</p> <p>調理室混合栓取替修繕 153千円</p> <p>ルーフドレン凍結修繕 292千円</p> <p>屋外喫煙所設置工事 1,210千円</p> <p>④美葉牛研修センター</p> <p>なし</p> <p>⑤図書館・郷土資料館</p> <p>なし</p> <p>社会教育施設備品等の整備状況</p> <p>①公民館</p> <p>座布団（和室用） 161千円</p> <p>ワイヤレスマイク一式 464千円</p> <p>②改善センター</p> <p>なし</p> <p>③生きがいセンター</p> <p>ワイヤレスマイク一式 132千円</p> <p>④図書館・郷土資料館</p> <p>図書館用図書 500千円</p>	<p>・数年後の施設複合化に向けて、必要な修繕や工事、備品の見極めを行いながら今後も利用者が安全・快適に利用できるよう施設の整備を行っていく。</p>	<p>A</p>
<p>2) 生涯学習指導者の確保</p>	<p>・多様化する住民ニーズに対応できる様、各分野における指導者やリーダーの確保等に努めた。</p>	<p>・学校授業やコミュニティ・スクール事業等でも活用できる人材バンクの再構築に努める。</p>	<p>B</p>

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
3) 生涯学習情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報ほくりゅう」や町HPを活用し、毎月の生涯学習情報等を発信すると共に、年間3回町内における生涯学習・活動情報を全戸配布にて提供するよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き各機関と連携を取り、生涯学習の情報を発信していく。 	A
4) 生涯の各期に応じた社会教育事業の推進			
ア) 子育て等、家庭教育支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加できる体験事業等を考案し、事業を通じてふれあえる機会の提供に努めた。 ・学校及び町PTA連合会等と協力し、保護者向けの家庭教育講座を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ社会教育事業に参加したことのない子どもや保護者に向けて、魅力ある事業作りや情報の発信に力を入れる。 	A
イ) 家庭・学校・地域連携による青少年教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者が子どもとふれあう機会を提供し、昔の遊びや生活文化の伝承体験に取り組んだ。 ・町子ども会との連携事業として「リーダーキャンプ」を開催した。 ・北空知圏教育委員会の共同事業による「北空知シニアリーダー研修会」（リーダー養成研修）を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者のふれあい事業は人気事業でもあることから引き続き昔遊びや生活文化の伝承体験を行う機会を作っていく。 ・子ども会活動がコロナで衰退気味にあるので、各役員と連携を取り、各子ども会の活動支援を行っていく。 ・シニアリーダー研修会については、中学生の参加が減少傾向にある。生徒会だけでなく未来ユースの参加者にも積極的に参加してもらえよう呼びかけを行っていく。 	A
ウ) 各社会教育団体への支援並びに多様な学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・町文化連盟と連携し、各サークルや団体等への加入促進及び新規サークル団体の育成支援に努めた。 ・第6次北竜町社会教育中期計画策定時における町民アンケート結果等を基に、多様化するニーズに対応した学習・体験機会の提供に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各サークルや団体が活動できるよう支援を行っていく。 ・第6次社会教育中期計画についてはR5年度で最終年となることから、第7次の計画策定を行っていく。 	A
エ) 高齢社会における生活課題等に対応した学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学（ひまわり大学）や生きがいセミナー（R4 コロナ禍により中止）を通じ、参加者のニーズに対応した講座の開催に努めた。 ・町住民課と連携し、高齢者向け講座等の準備及び施設の提供に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学については人口が減っている中、多くの人々が参加してくれているので、引き続きニーズに合う講師選定を行う。 ・生きがいセミナーについては、講師の選定が急務となっているため、近隣市町と連携を取って講師の選定を行う。 	B

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>5) 読書活動の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次北竜町子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動を促進していくと共に、保護者に向け幼少期からの本の重要性に関する講座（読み聞かせ教室）や、子ども向けの工作教室等の開催に努めた。 ・乳幼児を対象とした「ブックスタート事業」を町保健師と連携し推進した。 ・小中学校と連携し移動図書事業を推進し、子ども達が本に触れる機会の拡大に努めた。 ・利用者のニーズに対応するため、新刊等のリクエスト調査を実施した。 ・図書館ボランティア（3名）を配置し、円滑な事業推進に努めた。 ・道立図書館並びに近隣4町の図書館と連携した本の貸出利用を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次読書活動推進計画についてもR5年度が最終年となることから、第3次の計画策定を行っていく。 ・引き続きブックスタート事業については、町保健師と連携し実施していく。 ・移動図書についても引き続き子ども達が多くの本に触れる機会を作れるよう実施していく。 ・本の購入については引き続き町民のニーズに合ったものを選定し購入していく。 ・図書館ボランティアについては、次年度も引き続き行って貰えるよう、ボランティアの方と連携をしっかりと取っていく。 ・本の貸出利用の推進についても、引き続き行っていく。 	<p>B</p>
<p>3. 青少年の健全育成</p>			
<p>1) 青少年健全育成体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭（保護者）、地域、学校、町教委が一体となり、青少年の健全育成活動の推進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も各機関と連携を取り、青少年健全育成活動の推進に努める。 	<p>A</p>
<p>2) 非行防止活動等の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回開催するいじめ対策連絡協議会の際に、深川警察署（生活安全課長）より、直近の道内及び深川警察署管轄内における青少年犯罪及び犯罪に巻き込まれるといった事案についての情報提供をいただき、全参加関係者（各機関）と共に確認する機会を設定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非行防止についても各機関と連携を取り、会議での情報共有等から広く関係者に情報を周知できるように努める。 	<p>A</p>
<p>3) 家庭・地域の教育力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各校と連携し、家庭教育や子育て支援等に関する情報等を発信するよう努めた。 ・地域に根ざし共に子ども達を育てる学校教育の一貫として、本町における教育的資源や人材等の活用を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関とも連携を取り、引き続き子ども達を地域で育てる機運の醸成に努める。 	<p>B</p>

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>4) 青少年の体験・交流活動等の促進</p>	<p>・通年において、青少年の様々な体験交流活動、更には文化やスポーツ活動等の機会を設け、青少年活動の充実と活性化を促しました。</p> <p>社会教育事業 子どもと高齢者のふれあい事業 年8回 子ども会事業「リーダーキャンプ」 「わんぱく夏祭り」参加 北空知シニアリーダー・ステップアップ研修会 親子体験教室 年2回 親子映画鑑賞会 児童・生徒芸術鑑賞の旅 読み聞かせ教室</p> <p>社会体育事業 キッズエアロビクス 陸上教室 夢の教室 キッズアクア 水辺の安全教室 初心者・中級者水泳教室 教育長旗少年野球大会 水中レクリエーション大会 海洋レクリエーション体験 親子パークゴルフ教室（体験の風事業含） 小学生バレーボール大会 初心者スキー教室</p>	<p>・子どもの数が減少傾向にある中、文化・スポーツ活動の体験を通して豊かな心を育めるよう今後もニーズに合った事業を展開していく。</p> <p>・各少年団とも連携し、多くの子ども達に文化やスポーツの体験を行ってもらえるよう引き続き連携を取っていく。</p>	A
<p>4. 芸術・文化の振興</p> <p>1) 文化芸術団体、指導者の育成</p>	<p>・町文化連盟と連携し、各サークルや団体等への加入促進及び新規サークル団体の育成支援に努めた。（再掲）</p> <p>・また、町民主体の文化芸術活動の活性化を目指し、指導者の発掘確保に努めた。</p>	<p>・既存の文化団体は高齢者が中心になっていることから、団体の活動を継続するためにも新規の加入者確保が課題なので各機関と連携し、情報の発信や活動支援を行っていく。</p>	B

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
2) 文化芸術にふれる機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・町民文化祭や各サークル、団体等における活動の成果が発表できる機会の充実に努めた。 ・子ども映画鑑賞会や芸術の旅を実施し、多様な芸術作品等にふれる機会に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術鑑賞事業については、劇団四季が札幌から撤退しており、事業の場所選びが課題であることから、近隣市町と連携を取り、情報を収集していく。 	B
3) 文化財の保存・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・町指定無形文化財である真竜獅子舞（保存会）への支援を継続して進めると共に、郷土資料の適正な管理運用に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き団体の支援を行っていく。 	B

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会体育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
<p>5. スポーツの振興</p> <p>1) スポーツ施設の整備充実</p>	<p>・町民が安心して利用ができるよう、利用ニーズや老朽化状況を把握すると共に、各スポーツ施設個別施設計画を基とした管理運営を進め、指定管理者と連携し、一層の利用促進に努めた。</p> <p>スポーツ施設整備の主な改修状況</p> <p>①スキー場 圧雪車サスペンション及び オイルバン交換修繕 699千円 スキー場圧雪車点検修繕 610千円</p> <p>②野球場 グラウンドマスター修繕 120千円 ニオイヒバ植替工事 223千円</p> <p>③パークゴルフ場 散水設備工事 11,660千円</p> <p>④B&G海洋センター 床タイル修繕 25千円</p> <p>スポーツ施設備品等の整備状況</p> <p>①スキー場 なし ②野球場 なし ③パークゴルフ場 ワイヤレスアンプ一式 202千円 ④B&G海洋センター なし</p> <p>スポーツ施設の指定管理状況</p> <p>①スキー場 3,128千円 ②野球場 4,378千円 ③パークゴルフ場 11,451千円 ④B&G海洋センター 4,114千円</p>	<p>・スポーツ施設の運営については指定管理業務を委託しており、指定管理先と協議しながら今後も利用者が安全で快適に使用できる施設整備を行っていく。</p> <p>・老朽化している施設や物品については更新や改修時期を財政部局と連携を取り、計画的に進めていく。</p> <p>・パークゴルフ場については、R5年度で公認コースの期限が切れるため、R5年度中に更新手続きを行う。</p>	<p>A</p>
<p>2) スポーツ団体、指導者の育成</p>	<p>・町体育協会加盟団体や各スポーツ少年団等への組織支援は基より、各団体指導者に対するスキルアップ研修会等への情報提供並びに支援に努めた。</p> <p>指導者資格に対する支援状況 バレーボール少年団 資格登録料「スタートコーチ」 2名分 @13,000×2名 26千円助成</p>	<p>・少年団指導者の必要な資格については、毎年予算編成時期に調査し、連携を取りながら資格取得に向けての支援を行っていく。</p> <p>・スポーツ振興団体への支援についても、引き続き各団体と連携を取り適切な支援を行っていく。</p>	<p>A</p>

令和5年度（令和4年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会体育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価								
<p>3) 多様なスポーツ活動の普及促進</p>	<p>スポーツ振興団体への支援状況</p> <table border="0"> <tr> <td>体育協会補助金</td> <td>200 千円</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団本部補助金</td> <td>130 千円</td> </tr> <tr> <td>少年野球教室開催助成</td> <td>30 千円</td> </tr> <tr> <td>少年団交流事業費助成</td> <td>なし</td> </tr> </table> <p>・各スポーツ事業（大会）に関する情報等を町広報誌を活用して発信し、町民のスポーツ、健康づくりに対する意識の高揚に努めると共に、参画を促すよう進めた。</p> <p>・誰もが気軽に参加できる軽スポーツやレクリエーション活動の普及に向けたスポーツプログラムを企画実践した。 フロアカーリング（ひまわり大学講座）</p> <p>※その他、各種事業詳細等は社会体育実施内容を参照</p>	体育協会補助金	200 千円	スポーツ少年団本部補助金	130 千円	少年野球教室開催助成	30 千円	少年団交流事業費助成	なし	<p>・引き続きどの年代も気軽に参加できる軽スポーツの事業の企画や周知、またトレーニングルームの促進事業を令和4年度から実施しており、トレーニングルームの利用者も増加したことから、引き続き事業を計画して行い、町民の健康促進を図っていく。</p> <p>・フロアカーリング等のニュースポーツ等の情報を定期的に集める。</p>	<p>A</p>
体育協会補助金	200 千円										
スポーツ少年団本部補助金	130 千円										
少年野球教室開催助成	30 千円										
少年団交流事業費助成	なし										

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の開催状況及び審議件数

北竜町教育委員会の会議は、年10回の定例会及び特に必要と認められた場合に臨時会を開催しておりますが、本年度は臨時会の開催はありませんでした。

(開催期間 令和4年4月～令和5年3月)

会 議	年 月 日	報告件数	承認	議案件数	選挙
第 4 回 定 例 会	令 和 4 年 4 月 2 7 日	1	1	3	
第 5 回 定 例 会	令 和 4 年 6 月 2 8 日	2	1	3	
第 6 回 定 例 会	令 和 4 年 7 月 2 6 日	2	1		
第 7 回 定 例 会	令 和 4 年 8 月 2 3 日	1	1	5	
第 8 回 定 例 会	令 和 4 年 1 0 月 2 8 日	2	1	1	
第 9 回 定 例 会	令 和 4 年 1 1 月 2 8 日	1	1	1	
第 1 0 回 定 例 会	令 和 4 年 1 2 月 1 6 日	3	1		
第 1 回 定 例 会	令 和 5 年 1 月 2 6 日	2	1		
第 2 回 定 例 会	令 和 5 年 3 月 1 日	2	3(協議1)	4	
第 3 回 定 例 会	令 和 5 年 3 月 2 3 日	1	1	6	
合 計		15	12(協議1)	23	

(2) 条例、規則等の制定・改定状況

令和4年度条例、規則等の制定及び一部改正、廃止については、条例改正2件、規則改正1件、要項改正2件、要綱制定2件、要綱改正2件の計9件となっております。

- ・ 修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要項の一部改正 (令和4年4月1日施行)
- ・ 北竜町要保護及び準要保護児童・生徒就学援助規則の一部改正 (令和4年4月1日施行)
- ・ 北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正 (令和5年4月1日施行)
- ・ 北竜町特別奨学資金貸付基金条例の一部改正 (令和5年4月1日施行)
- ・ 北竜町文化・スポーツ振興派遣事業助成要綱の制定 (令和5年4月1日施行)
- ・ 北竜町中体連等参加助成金交付要綱の制定 (令和5年4月1日施行)
- ・ 北竜町中学生短期語学留学助成事業実施要綱の一部改正 (令和5年4月1日施行)
- ・ 北竜町修学旅行費助成金交付要綱の一部改正 (令和5年4月1日施行)
- ・ 修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要項の一部改正 (令和5年4月1日施行)

(3) 教育委員の活動状況（抜粋）

教育委員会は、定例会や臨時会のほか町内小・中学校の入・卒業式への出席など、各種教育団体の行事への参加や学校訪問などを行っております。

月 日	活 動 内 容	会 場
4 月 1 日	令和4年度永年勤続者表彰及び辞令交付式	議 場
4 月 1 日	令和4年度教育委員会辞令交付式	公 民 館 講 堂
4 月 4 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
4 月 4 日	令和4年度北竜町立学校職員辞令交付式	公 民 館 講 堂
4 月 8 日	令和4年度北竜町パークゴルフ協会総会	公 民 館 講 堂
4 月 11 日	旭勇産業(株)訪問	教 育 長 室
4 月 12 日	令和4年度北竜町立学校職員辞令交付式（育休教諭）	教 育 長 室
4 月 12 日	空知管内教育委員会協議会総会	岩 見 沢 市
4 月 12 日	第1回空知管内教育長会議	岩 見 沢 市
4 月 12 日	第1回第5採択地区教科書選択教育委員会	岩 見 沢 市
4 月 13 日	地域貢献活動感謝状贈呈（NPOひまわり）	町 長 応 接 室
4 月 13 日	令和4年度北竜町文化連盟総会	公 民 館 講 堂
4 月 14 日	北空知地区教育支援協議会監査業務	教 育 長 室
4 月 15 日	第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会（Web会議）	教 育 長 室
4 月 21 日	北空知地区教育支援協議会総会	深 川 市
4 月 21 日	北空知教育委員会教育長会議	深 川 市
4 月 22 日	第1回校長・教頭合同会議	公 民 館 講 堂
4 月 22 日	第2回北竜町議会臨時会	議 場
4 月 25 日	沼田地区防犯協会連合会総会	沼 田 町
4 月 25 日	第29回新型コロナウイルス感染症対策本部会議	町 長 応 接 室
4 月 27 日	第4回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
4 月 28 日	第30回新型コロナウイルス感染症対策本部会議	町 長 応 接 室
4 月 28 日	第1回北竜町スポーツ推進委員会議	公 民 館 講 堂
4 月 28 日	第1回北竜町社会教育委員会議	公 民 館 講 堂
5 月 2 日	第31回新型コロナウイルス感染症対策本部会議	町 長 応 接 室
5 月 6 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
5 月 6 日	第32回新型コロナウイルス感染症対策本部会議	すこやかセンター 会 議 室
5 月 17 日	北竜町開拓記念式並びに表彰条例に基づく功労者表彰式	開 拓 記 念 碑 前 福 祉 セ ン タ ー
5 月 18 日	北竜町学校教育振興会総会	中 学 校 体 育 館
5 月 19 日	令和4年度 ひまわり大学「入学式」	公 民 館 大 ホール
5 月 21 日	子どもと高齢者のふれあい事業「開講式・農園種まき」	公 民 館 大 ホール

月 日	活 動 内 容	会 場
5 月 22 日	春のフットパス	町内特設コース
5 月 23 日	令和4年度北海道B & G海洋センター連絡協議会総会	砂 川 市
5 月 29 日	町長杯パークゴルフ大会	ひ ま わ り パ ー ク ゴ ル フ 場
6 月 7 日	人権擁護委員活動報告訪問	教 育 長 室
6 月 7 日	定例課長等会議	す こ や か セ ン タ ー 会 議 室
6 月 9 日	総務産業常任委員会	す こ や か セ ン タ ー 委 員 会 室
6 月 10 日	令和4年度北竜町議会行政視察	町 内
6 月 15 日	戦没者追悼法要	碧 水 高 齢 者 コ ミ ュ ニ テ ィ ー セ ン タ ー 前
6 月 19 日	教育長杯パークゴルフ大会	ひ ま わ り パ ー ク ゴ ル フ 場
6 月 21 日	第2回北竜町議会定例会	議 場
6 月 21 日	議会懇談会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
6 月 24 日	第2回校長教頭合同会議	公民館第一研修室
6 月 27 日	町内会長会議	す こ や か セ ン タ ー 集 団 検 診 指 導 室
6 月 27 日	町内会長連絡協議会懇親会	次 郎 長
6 月 28 日	開町130年功労者表彰協議	町 長 室
6 月 28 日	公共施設打ち合わせ	町 長 応 接 室
6 月 28 日	北竜町職員懲戒審査委員会	町 長 室
6 月 28 日	空知教育局学校経営指導訪問挨拶来館	教 育 長 室
6 月 28 日	第5回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
6 月 28 日	教育関係者歓迎会	味 処 八 八
6 月 29 日	北竜消防演習	役 場 庁 舎 北 側 駐 車 場
6 月 30 日	令和4年度中学校体育連盟北空知大会観戦（バレー部・野球部・卓球部）	深 川 市 芦 別 市
6 月 30 日	北竜町民生委員児童委員推薦会	役 場 会 議 室
7 月 6 日	定例課長等会議	す こ や か セ ン タ ー 会 議 室
7 月 6 日	六陵連合会訪問	教 育 長 室
7 月 8 日	令和4年度中学校体育連盟空知大会観戦（バレー部）	南 幌 町
7 月 13 日	第2回空知管内教育長会議（Zoom）	教 育 長 室
7 月 14 日	北海道市町村教育委員会研修会兼道内視察研修 ～15日	札 幌 市
7 月 20 日	開町130年記念式典打ち合わせ	町 長 室
7 月 20 日	北空知学校給食組合事務局長訪問	教 育 長 室
7 月 21 日	空知校長会訪問	教 育 長 室
7 月 25 日	公立高等学校配置計画地域別検討協議会	砂 川 市
7 月 26 日	いじめ問題対策連絡協議会	公 民 館 講 堂

月 日	活 動 内 容	会 場
7 月 26 日	第6回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
7 月 26 日	空知町教育委員会連絡協議会教育長部会研修会 (Zoom)	教 育 長 室
7 月 27 日	新十津川町教育委員会久保田教育長御尊父告別式参列	新 十 津 川 町
7 月 28 日	空知科挙会訪問	教 育 長 室
7 月 29 日	教育委員会職員 (退職者) 辞令交付式	教 育 長 室
7 月 30 日	第32回教育長旗争奪北空知少年野球大会	町 営 野 球 場
8 月 1 日	教育委員会職員 (採用者) 辞令交付式	教 育 長 室
8 月 2 日	第3回校長教頭合同会議	公 民 館 講 堂
8 月 5 日	(株)インタラック北日本訪問	教 育 長 室
8 月 6 日	全国ひまわりオイルサミット	ひまわりの里外
8 月 7 日	教員採用2次検査 (面接)	岩 見 沢 市
8 月 8 日	北竜町130年記念 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会	ひまわりの里
8 月 9 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
8 月 9 日	短期語学留学高校生来庁挨拶	町 長 応 接 室
8 月 19 日	戦没者追悼式	公 民 館 大 ホール
8 月 23 日	教育施設調査	公 民 館 他
8 月 23 日	第7回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
8 月 23 日	義務教育学校視察研修 (議会合同)	比 布 町
8 月 23 日	議会・教育委員会懇親会	サンフラワーパーク 北 竜 温 泉
8 月 24 日	教育委員道外研修打ち合わせ	教 育 長 室
8 月 30 日	教育委員道外研修 (~9/2)	沖 縄 県
9 月 3 日	北竜町開町130年記念式典	公 民 館 大 ホール
9 月 3 日	短期語学留学高校生帰国挨拶	教 育 長 室
9 月 6 日	敬老会	老人福祉センター
9 月 12 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
9 月 12 日	公共施設再配置方針協議	町 長 応 接 室
9 月 14 日	第3回議会定例会 (~9/16)	議 場
9 月 16 日	決算審査特別委員会理事者報告	町 長 室
9 月 17 日	秋のフットパス	雨 竜 川 堤 防
9 月 21 日	インタラック訪問	教 育 長 室
9 月 22 日	第1回文化祭実行委員会	公 民 館 講 堂
9 月 27 日	令和5年度予算編成協議	町 長 室
9 月 28 日	北空知給食組合局長訪問	教 育 長 室

月 日	活 動 内 容	会 場
9 月 29 日	第2回文化祭実行委員会	公 民 館 講 堂
10 月 2 日	レッツゴーパークゴルフ大会（親子パークゴルフ教室）	ひ ま わ り パ ー ク ゴ ル フ 場
10 月 5 日	教委職員人事推進会議 他2会議	岩 見 沢 市
10 月 11 日	定例課長等会議	す こ や か セ ン タ ー 会 議 室
10 月 14 日	教職員人事面談（真小校長）	教 育 長 室
10 月 18 日	教職員教育長面談（北中）	北 竜 中 学 校
10 月 18 日	教職員教育長面談（真小）	真 竜 小 学 校
10 月 19 日	町村教育委員会連合会教育長部会研修会	札 幌 市
10 月 20 日	改善センター体育館施工完了事前確認	改 善 セ ン タ ー
10 月 20 日	第1回教育委員会活動評価委員会議	公 民 館 講 堂
10 月 21 日	第3回議会臨時会	議 場
10 月 22 日	真竜小学校学習発表会	真 竜 小 学 校
10 月 24 日	公共施設再配置計画理事者協議	町 長 応 接 室
10 月 25 日	総務産業常任委員会	す こ や か セ ン タ ー 委 員 会 室
10 月 26 日	第2回教育委員会活動評価委員会議	公 民 館 講 堂
10 月 27 日	北空知教育長会議	深 川 市
10 月 27 日	北空知教育長会歓送迎会	深 川 市
10 月 28 日	北竜中学校授業参観	北 竜 中 学 校
10 月 28 日	第8回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
10 月 29 日	開町130年記念講演会	改 善 セ ン タ ー 多 目 的 ホ ー ル
10 月 31 日	夢の教室	真 竜 小 学 校
11 月 2 日	教職員人事第1次協議	岩 見 沢 市
11 月 3 日	北竜町町民文化祭	公 民 館 改 善 セ ン タ ー
11 月 5 日	PTA連合会研究大会・家庭教育学級・北空知管内市町教育委員会研修会	公 民 館 大 ホ ー ル
11 月 5 日	北空知管内市町教育委員会懇談会	サ ン フ ラ ワ ー パ ー ク 北 竜 温 泉
11 月 8 日	(株)インタラック訪問	教 育 長 室
11 月 8 日	これからの高校づくりに関する指針改訂版に関わる意見を聞く会 (Zoom開催)	教 育 長 室
11 月 9 日	定例課長等会議	す こ や か セ ン タ ー 会 議 室
11 月 9 日	北竜町学校教育振興会「研究大会」	真 竜 小 学 校
11 月 10 日	教育委員研修会（Zoom開催）	教 育 長 室
11 月 11 日	北竜町行政懇談会（生きがいセンター）	生 き が い セ ン タ ー
11 月 11 日	北竜町行政懇談会（公民館）	公 民 館
11 月 15 日	公共施設再配置推進委員会	す こ や か セ ン タ ー 会 議 室

月 日	活 動 内 容	会 場
11 月 17 日	ひまわりオリンピック大会	改 善 セ ン タ ー 多 目 的 ホ ー ル
11 月 25 日	第4回議会臨時会	議 場
11 月 25 日	岩見沢市教育委員会訪問	岩 見 沢 市
11 月 28 日	臨時校長会議	公 民 館 講 堂
11 月 28 日	空知教育長会議（Zoom開催）	教 育 長 室
11 月 28 日	第9回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
11 月 28 日	教育委員歓送迎会	食 事 処 向 日 葵
11 月 30 日	市町村教育委員会新任委員研修会（Web開催）	公 民 館 講 堂
11 月 30 日	北空知信用金庫専務訪問	教 育 長 室
12 月 5 日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
12 月 5 日	庁内デジタル化推進委員会	すこやかセンター 会 議 室
12 月 6 日	いじめ根絶集会（Web開催）	公 民 館 講 堂
12 月 7 日	空知教育局学校経営指導訪問	教 育 長 室
12 月 8 日	第4回議会定例会	議 場
12 月 13 日	老人福祉センター理事者協議	町 長 室
12 月 15 日	町内会長会議	すこやかセンター 集 団 検 診 指 導 室
12 月 16 日	北竜町振興公社取締役会議	北 竜 温 泉 サ ン フ ラ ワ ー パ ー ク
12 月 16 日	議会全員協議会	すこやかセンター 委 員 会 室
12 月 16 日	いじめ問題対策連絡協議会	生 き が い セ ン タ ー
12 月 16 日	第10回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
12 月 19 日	校長・教頭合同会議	公 民 館 講 堂
12 月 20 日	岩見沢市教育委員会教育長訪問	教 育 長 室
12 月 22 日	公共施設再配置理事者協議	町 長 応 接 室
12 月 27 日	真竜小学校教職員面談	教 育 長 室
12 月 28 日	教職員人事協議	岩 見 沢 市
1 月 7 日	令和5年 20歳を祝う会	公 民 館 大 ホ ー ル
1 月 13 日	町内会長会議	すこやかセンター 集 団 検 診 指 導 室
1 月 20 日	第1回議会臨時会	議 場
1 月 20 日	議会新年交礼会	サ ン フ ラ ワ ー パ ー ク 北 竜 温 泉
1 月 24 日	B&G全国サミット（～25日）	東 京 都
1 月 26 日	公共施設再配置計画推進委員会	すこやかセンター 会 議 室
1 月 26 日	第1回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
1 月 28 日	子どもと高齢者のふれあい事業「豆まき」	公 民 館

月 日	活 動 内 容	会 場
2月2日	教職員人事2次協議 (Zoom開催)	教 育 長 室
2月8日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
2月8日	公共施設再配置計画住民説明会①	生きがいセンター
2月10日	公共施設再配置計画住民説明会②	公 民 館 講 堂
2月11日	第57回町民スキー大会	町 営 ス キ ー 場
2月13日	北竜町女性連絡協議会年始総会	公 民 館 講 堂
2月14日	北空知給食組合教育長会議	深 川 市
2月21日	北空知給食組合教育委員会	深 川 市
2月22日	校長・教頭合同会議	公 民 館 講 堂
2月25日	子どもと高齢者のふれあい事業「閉講式」	公 民 館
3月1日	第2回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
3月1日	教育委員送別会	川 甚
3月3日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
3月7日	第1回議会定例会 (～14日)	議 場
3月12日	北竜中学校卒業式	北 竜 中 学 校
3月14日	定例課長等会議	町 長 応 接 室
3月16日	ひまわり大学卒業式	公 民 館 大 ホール
3月16日	北教組北竜支会役員訪問	教 育 長 室
3月17日	定例課長等会議	すこやかセンター 会 議 室
3月17日	真竜小学校卒業式	真 竜 小 学 校
3月23日	教育長杯室内PG大会	改 善 センター 多 目 的 ホール
3月23日	北竜町総合教育会議	公 民 館 講 堂
3月23日	第3回教育委員会定例会	公 民 館 講 堂
3月23日	教育関係者懇談会「校長・教頭送別会」	食 事 処 向 日 葵

(4) 令和4年度 北竜町教育委員会議案一覧表

会議名	開催日	開催時間	議案番号	議 件 名
定例第4回	令和4年4月27日	16時30分	承認第4号	令和4年第3回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第4号	教育行政報告について
			議案第15号	北竜町学校運営協議会（CS）委員の任命について
			議案第16号	令和4年度準要保護児童生徒の認定について
			議案第17号	令和4年度奨学生の選定について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第5回	令和4年6月28日	16時30分	承認第5号	令和4年第3回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第5号	教育行政報告について
			報告第6号	令和4年度教育費補正予算（第3号）について
			議案第18号	修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要項の一部を改正する要項について
			議案第19号	令和4年度北竜町立学校における学校閉庁日について
			議案第20号	北竜町いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第6回	令和4年7月26日	10時30分	承認第6号	令和4年第5回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第7号	教育行政報告について
			報告第8号	中学校体育連盟体育大会の成績報告について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第7回	令和4年8月23日	11時20分	承認第7号	令和4年第6回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第9号	教育行政報告について
			議案第21号	令和5年度に使用する中学校用教科用図書の採択について
			議案第22号	令和5年度に使用する学校教育法附則第9条に規定する小中学校用教科用図書（特別支援）の採択について
			議案第23号	令和5年度に使用する小学校用教科用図書の採択について
			議案第24号	北竜町要保護及び準要保護児童・生徒就学援助規則の一部を改正する規則について
			議案第25号	令和4年度教育費補正予算（第6号）について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第8回	令和4年10月28日	16時00分	承認第8号	令和4年第7回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第10号	教育行政報告について
			報告第11号	令和4年度教育費補正予算（第7号）について
			議案第26号	令和4年度（令和3年度事業）教育委員会事務の点検・評価報告書について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第9回	令和4年11月28日	16時00分	承認第9号	令和4年第8回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第12号	教育行政報告について
			議案第27号	令和4年度教育費補正予算（第8号）について
			そ の 他	各種行事の日程調整について

会議名	開催日	開催時間	議案番号	議 件 名
定例第10回	令和4年12月16日	16時00分	承認第10号	令和4年第9回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第13号	教育行政報告について
			報告第14号	令和4年度全国学力・学習状況調査結果について
			報告第15号	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第1回	令和5年1月26日	16時00分	承認第1号	令和4年第10回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第1号	教育行政報告について
			報告第2号	北竜町公共施設再配置計画について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第2回	令和5年1月27日	17時00分	承認第2号	令和5年第1回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第3号	教育委員会委員の辞任について
			報告第4号	教育行政報告について
			議案第1号	令和4年度教育費補正予算（第11号）について
			協議第1号	令和5年度教育行政執行方針について
			議案第2号	令和5年度教育費予算案について
			承認第3号	北竜町公の施設に係わる指定管理者の指定について
			議案第3号	北竜町奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例について
			議案第4号	北竜町特別奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例について
			そ の 他	各種行事の日程調整について
定例第3回	令和5年1月28日	18時00分	承認第4号	令和5年第2回教育委員会定例会議事録の承認について
			報告第5号	教育行政報告について
			議案第5号	令和5年度準要保護児童生徒の認定について
			議案第6号	北竜町文化・スポーツ振興派遣事業助成要綱の制定について
			議案第7号	北竜町中体連等参加助成金交付要綱の制定について
			議案第8号	北竜町中学生短期語学留学助成事業実施要綱の一部を改正する要綱について
			議案第9号	北竜町修学旅行費助成金交付要綱の一部を改正する要綱について
			議案第10号	修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割り振り等に関する要項の一部を改正する要項について
			そ の 他	各種行事の日程調整について

令和5年度
(令和4年度事業対象)

生涯学習推進事業・社会教育事業・文化芸術事業
社会体育事業 自己点検・評価一覧表

北竜町教育委員会

令和4年度 北竜町社会教育事業実施内容

生涯学習推進事業

No. 1

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	生涯学習の促進	生涯学習が設置され、町づくりへの生涯学習推進について基本的な方向が示されています。町民に「いつでも、だれでも、どこでも、なんでも」学習のできる環境の整備を図ります。	通年	—	一般	—	—	1)各期間で行われている事業・行事の見直しを行う。 2)事業・行事の連携に向けての協議を行う。	第6次北竜町社会教育中期計画に基づき、生涯学習の推進を図った。今後も既存事業の見直し等を行っていく。	1 2 3 4 5
2	生涯学習カレンダーの発行	生涯学習を実施している関係機関の活動内容を知らせ、住民に計画的に学習活動に参加する意識を喚起します。	年3回発行	—	一般	—	—	町、学校、社会教育団体、農業者団体、商工団体等の行事を掲載する。 第1回 5月 1日発行 5月～8月分 第2回 9月 1日発行 9月～12月分 第3回 12月 27日発行 1月～3月分	コロナ禍ということもあり、各発行月ごとに団体に調査を行いながらカレンダーを発行することができた。	1 2 3 4 5
3	生涯学習だよりの発行	毎月行われる生涯学習状況を、広く住民に知らせるとともに、参加を促します。	毎月1回発行	—	一般	—	—	毎月1回広報ほくりゅうに掲載し全戸に配布を依頼する。 ・実施した事業の様子 ・施設の閉館日のお知らせ ・図書館の新聞のお知らせなど	実施した事業の様子等を広報に掲載し、町民に幅広く社会教育・体育事業の取組を知ってもらうことができた。	1 2 3 4 5
4	生涯学習振興事業助成	教育振興と住民の生涯学習を推進し、住民の心の健全な発達と明るく豊かな住民生活の形成に寄与します。	通年	—	一般	—	—	生涯学習振興基金の活用を行う。 ①文化振興・イベント開催に関する事業 ②スポーツ等に関する事業 ③伝統・文化保存に関する事業 ④人材育成に関する事業 ⑤産業振興に関する事業 ⑥独創的な町づくり事業 ⑦生涯学習振興に関する事業	適正な管理を行った。 (今年度は活用なし)	1 2 3 4 5
5	生涯学習人材バンク事業	地域社会の中で様々な技術を有する人を学習ボランティアとして活用し、学習を通じて人々の生きがい作りや町作り等の意識を育てます。	通年	—	一般	24名	—	「他薦」「自薦」により登録。 住民ニーズに応じた登録台帳の作成、公民館講座などで活用を図る。	今年度も新規登録者はなかったが、人材バンクを用いて公民館講座等を実施した。	1 2 3 4 5

令和4年度

北竜町社会教育事業実施内容

社会教育事業

No.2

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	子どもと高齢者のふれあい事業	核家族化が進み世代間交流が少なくなっている傾向の中、子どもたちに高齢者の持っている知識や技術を継承し、子どもたちに心豊かな経験の機会を設けます。	5月～ 2月 全8回	公民館 他	小学生 高齢者	延176名	ふれあい 推進委員	①開講式、農園播種(5/21) 22名 ②フロアカーリング体験(6/18) 23名 ③見学旅行 さくらんぼ狩り(7/9) 28名 ④工作・実験教室(8/5) 29名 ⑤農園収穫祭(9/4) 22名 ⑥もちつき体験会(12/3) 中止 ⑦豆まき(1/28) 25名 ⑧雪遊び・閉講式(2/25) 27名	今年度もコロナの影響があり、開催できなかった事業もあったが、趣旨の通り子どもと高齢者が交流し、様々な体験活動を行うことができた。 新1年生も多く参加し、今年度も多くの子どもたちが参加してくれた。	1 2 3 ④ 5
2	ひまわり大学	高齢期になってもなお、生き生きと豊かに暮らすことが、高齢化社会における生涯学習のねらいです。様々な講座や体験から、学生一人一人が自らの生きがいを創造し、社会参加を図れるようになることを目的としています。	5月～ 3月	公民館	高齢者 (入学者 64名)	延430名	町内外の 講師	①持続可能な林業(5/19) 40名 講師:自然下代表 上井運矢氏 ②今日から始められる介護予防!(6/9) 48名 講師:北翔大学教授 小田史郎氏 ③見学旅行 美唄方面(7/14) 29名 ④Sports Communityの実現に向けて(8/4) 35名 講師:株式会社ファイターズ 石川拓道氏 ⑤心と体を元気にする歌レク(9/8) 41名 講師:日本レクリエーション協会 ⑥楽しい北海道弁講座(11/10) 37名 講師:ふらのまちづくり株式会社 代表取締役社長 西本伸顕氏 ⑦ひまわりオンライン(11/17) 35名 ⑧ファミリーホスピックの調べ方(12/8) 36名 講師:家族歴史研究家 岸本良信氏 ⑨こころの健康講座(1/12) 36名 講師:旭川医科大学准教授 吉岡英治氏 ⑩フロアカーリング体験(2/9) 37名 進行:教育委員会職員 ⑪卒業式(3/16) 56名	今年度の入学者数は前年度と比べて2名増え、64名でスタートした。 今年度も感染症予防として、卒業式後の謝恩会は中止にしたが、それ以外の予定していたものは全て実施することができた。 12月には、学生から要望のあった内容の講師を招くことができた。入保講師とも連携した講座を行うことができた。 今後、学生のニーズに合った講座を実施していきたい。	1 2 3 4 ⑤
3	北竜未来ユース	既存の社会教育・体育事業等へ中学生以上の参加を図り、地域や異世代との繋がりがから、参加者の自己肯定感を高めるとともに、地域に関心をもち、町を好きになるきっかけ作りの場を提供する。	通年	町内 (基本)	中学生 ~ 大学生	中学生 3名 高校生 1名	教育委員会	○定期的なミーティングや研修会 ・5月25日 第1回研修会開催 4名参加 ○既存の事業へボランティアとして参加 ・6月18日ふれあい事業に3名参加 ・9月4日ふれあい事業に4名参加 ・1月28日ふれあい事業に3名参加 ・2月25日ふれあい事業に2名参加 ○新規事業の企画・運営 ・今後の活動の様子を見て検討 ○1年間の活動記録作成(3月) ・現在遅れて作成中	今年度より始まった新規事業で、中学生3名、高校生1名が参加してくれた。 1回目の研修会でスライドを用いたボランティア活動について等のお話をし、6月からは実践という形で各活動に自分が参加できる時に参加してもらい、子どもたちのリーダー役として活動することができた。 今年度も新1年生などに声をかけ、ふれあい事業だけでなく、他の事業にも声かけができるよう活動の幅を広げていきたい。	1 2 3 ④ 5

令和4年度

北竜町社会教育事業実施内容

社会教育事業

No. 3

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
4	北空知シニアリーダー一研修会 北空知ステップアップ研修会	北空知に住む小・中・高校生が集まり交流を図るとともに、将来の青年リーダー的存在として必要となる技術の習得や意識の改革を行います。	12月26日・27日 3月28日・29日	ネイパル 深川	中・高校生 小・中学生	12月 中学生 1名 3月 中学生 3名 小学生 6名	北空知社会教育 育関係職員	北空知に住む、中・高校生が集まり交流を図るとともに、様々なプログラムを通して、将来の青年リーダー的存在として必要な技術の習得や集団行動におけるルール等を学ぶことにより実践力を高める。	12月の研修会は、募集時期がコロナウイルスが町内で流行している時期で、1名しか参加してもらえないことが多かった。 3月は、小中学生合わせて合計9名が参加してくれた。 2回とも、町内の子だけでなく他都市の子と交流している様子が見られた。 ※3月の研修会は3年ぶりに開催となった。	1 2 3 4 ⑤
5	20歳を祝う会	成人になったことを自覚する機会にし、新成人を祝福し激励します。 ※旧成人式	1月7日	公民館	新成人 対象者	11名	—	・式典 ・交流会 中止	今回も、コロナの影響により交流会は実施できなかったが、11名の20歳対象者を迎え、来賓も通常に戻って開催することができた。	1 2 3 ④ 5
6	子ども会育成連絡協議会	町内会の子ども会と連携し、様々な体験活動を通して、青少年の心身共に健全な育成を図ります。	通年	町内	小中学生	延 児童34 名 中学生 7名	ふれあい 推進委員 商工会青年部 教委職員等	・各ふれあい事業 ・わんぱく夏祭り(7月) ・児童28名 中学生4名参加 ・子ども会リーダー一(中止) ・リーダー一育成講習会(3月下旬) 児童6名 中学生3名参加	8月に予定していたリーダー一キャンプはコロナの影響により中止となったが、その他の事業については、各機関と連携し事業を行うことができた。	1 2 3 ④ 5
7	家庭教育学級	家庭と学校の相互理解と連携を図り、子どもに対する教育的役割を認識し、機能を十分に発揮できるよう学習機会を提供して家庭教育の振興を図ります。	11月5日	公民館	PTA会員 一般町民 教育委員 (北空知)	合計 69名	金子耕式 氏	第55回北竜町PTA連合会研究大会 兼 北竜町家庭教育学級 兼 北空知管内 市町教育委員研修会 として実施 保護者・教員・40名 教育委員関係・27名 来賓・2名	『この時代の家庭と子育てに必要なこと』題し、「愛情を与える」「時間と感動を共有する」「親としての威厳」という3つの柱を中心に講演していただいた。とても有意義な時間になった。	1 2 3 4 ⑤
8	女性連絡協議会	各町内会代表により構成され、町内の女性の活動を促進します。	通年	公民館他	町内女性	—	—	・町民文化祭のチャリティーバザー (11/3) 中止 ・全町女性レクリエーション大会 (11/19) 中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
9	書画教室	描いて楽しく、貰って嬉しい絵手紙やオブジェ作りを気軽に体験してもらい、参加者にと一つの趣味作りとして学んでもらいます。	10月18日 10月20日 10月25日	公民館	成人	延12名	町内の指導者 瀬戸 正 氏	・絵手紙(ミニ色紙に風景等の絵を描き、文字を書き入れたもの) ・オブジェ(石ころや木板に絵を描き入れたもの)など	ロコミにより、新規参加者が2名増えた。講座中は、講師と受講者からコミュニケーションをとりながら、参加者同士も作品を見せ合ったりして交流が図られ、終始良い雰囲気で行うことができた。	1 2 3 4 ⑤
10	親子体験教室	親子で様々な活動を行うことで、親子の絆を深めるとともに、家族間でも交流を促進し、地域の繋がりを形成します。	10月22日	改善センター 体育館	児童とその 保護者	20名	教育委員会	ハロウィンのかぼちゃランタン作り ※親子8組が参加 ・未就学児 3名 ・児童 9名 ・保護者 8名	親子が協力して作業を行う様子が図られ、出来上がったほかの親子の作品を見るなど、家族間での交流も見られた。 次年度も行いたいとの声が多かった。	1 2 3 4 ⑤
11	押し花教室	誰でも気軽に作る事ができる押し花作りを体験してもらい、参加者にと一つの趣味作りとして学んでもらいます。	2月21日	公民館	成人	10名	町内の指導者 久米合 恵子 氏	押し花を用いたしおりなどの作品を作成する。	素材の手に入りにくい状況から1回のみで開催となった。 それでも、募集を開始してすぐ定員になる程の人気事業であり、参加者からも来年度もやりたいとの声が多かった。	1 2 3 4 ⑤
12	料理教室	家庭で役立つ健康作りの知識や料理のレシピ等を学ぶと共に、仲間作りを行うきっかけをつくり、社会参加を促進します。	①2月26日 ②3月20日	公民館	①小5~中 学生の子 ②成人女性	①保5 名 中2名 児4名 ②4名	料理教室 ①手塚なつみ 講師:地域おこし協力隊 西島氏・中野氏 ②心と体を温める冷たい改善レシピ 講師:夜場 杉山菜穂士	①は、地域おこし協力隊とのコラボ開催で、親子を対象に実施。 ②は、寒い時期に効くシソやカボチャのレシピを職場住民課とのコラボ事業で実現。 両方とも、参加者同士が声をかけあいがち協力して料理を作っている様子が図られた。	1 2 3 4 ⑤	

令和4年度

北竜町社会教育事業実施内容

社会教育事業

No. 4

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
13	英会話教室	英語文化に触れる機会の少ない本町において、英語の楽しさについて学ぶことを目的として簡単な成人向けの英会話教室を実施します。	2月17日 2月22日 2月24日	公民館	成人	延 19名	町内在住ALT トレンティーン・ ジョーシル カンピアド氏	日常生活での会話 ・様々なケースで使える英会話など	今回大人が参加しやすいう 午後6時開催にした。 参加者が英会話サークルの方で 固定化されているため、次年度よ り廃止する	1 2 3 4 5
14	生きがいセミナー 「カラオケ教室」	高齢者の生きがいが増え、健康が保たれるよう、町民のニーズにあった技術や知識を学ぶ機会を提供します。	2月下旬 ～3月上旬 全3回	公民館	高齢者	—	におん歌謡 音楽学院講師 河岸 利喜雄氏	カラオケ教室 ・課題曲を設定する。	新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため中止	-
15	プラモデル教室	青年層をターゲットに、昔懐かしいプラモデル作りを通して、新しい趣味作りや地域の繋がりが作りを促進します。	3月4日	公民館	全町民	児童2 名 中学生 3名 大人6 名	佐藤 健司 氏	プラモデル教室 ・初心者でもできる機体を選び、参加者 に作成してもらい実際にアドバタイズ等を 講師にしていた。 ・自分の作りたいものを持ってきて指導 してもらいながら作る。	当初3回予定していたが、講師の 都合と合わせて1回のみと開催と なったが、多くの参加者が集まっ た。 初心者向けの機材を購入し、初 心者は簡単な機体を作成、中級 者は自分で作りたい物を持参し、 講師にアドバタイズをもらいなが ら作成することができた。	1 2 3 4 5
16	子ども見守りサポーター	地域の住民や団体の参画で子どもたちを 犯罪や交通事故から守り、健やかな成長 に寄与することを目的としています。	通年	町内 一円	成人	65名	登録者	・登下校時の見守り ・防犯パトロール ・交通安全啓発など	今年度も多くのサポーターの皆 様ご協力のもと、見守り活動を行 うことができた。 目標としていたサポーターの整理 は次年度に持ち越し。	1 2 3 4 5
17	学校開放事業	町民の学習活動及びコミュニケーションづくりの場 として開放し、町民の利用を促進します。	通年	小学校 中学校	一般	小学校 延423名 中学校 延115名	—	今年度は、改善センター体育館の床改 修工事により、改善センターの体育館が 使用できない期間があるため、少年団 活動等で小中学校の体育館を利用でき るよう調整する。	8月～10月の工事期間(約3か 月)小中学校の協力のもと、ス ポーツ団体が活動できるよう調整 を行うことができた。	1 2 3 4 5
18	各種指導者育成講座	北海道教育庁等が主催する各種指導者育 成事業を周知し、参加希望者に助成を行う ことにより、生涯学習振興のために必要 な指導者を育成し、人材活用を図ります。	通年	公民館他	一般	—	—	随時指導者育成事業の募集要項を関係 機関に周知する。	実施無し。	1 2 3 4 5
19	パソコンヘルプデスク	パソコンの知識と技術を身近なものにする ため、日頃の疑問に答える場を提供しま す。	通年	公民館他	一般	約10名	教育委員会 及び 地域指導者	①パソコンの基本操作 ②文字入力 ③ワープロソフトの基本操作 ④表計算ソフトの基本操作 ⑤インターネットの使用方法 など	パソコンだけでなく、スマートフォ ンの使い方も町民にアドバタイズす ることができた。	1 2 3 4 5

令和4年度 北竜町社会教育事業実施内容

文化芸術

No. 5

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	町民映画会 (親子映画鑑賞会)	一つの作品を多くの人が同時に鑑賞し感動を共有することで、町民の文化振興を図ります。	11月2日	改善センター	一般	約70名	—	・町民文化祭の初日に合わせ、親子で楽しめる映画鑑賞を行う。 ・上映作品は『スポンジ・ボブ・スポンジ・オン・ザ・ラン』 ・ノースドラゴンヒーローショーは中止	3年ぶりの開催となったが、多くの親子が鑑賞しに来てくれた。大画面で見る映画は迫力があって評判が良いので、次年度以降も続けていく。	1 2 3 ④ 5
2	町民文化祭	日頃の文化サークルの活動の発表の場として、また町民の文化に対する意識の高揚を図る場として実行委員会をサポートします。	11月2日 11月3日	公民館・改善センター	一般	約200名	—	・芸能発表 ・作品展示 ・出店販売 ・チャリティパーバザーはコロナ対策のため中止	3年ぶりの開催で、例年とは違うスタイルで行った。 今回は、コロナ禍でも出演・出演が可能な団体に参加してもらい、無事に実施することができた。 コロナ禍でも開催できて良かったとの声が多かった。	1 2 3 ④ 5
3	文化・芸術鑑賞の旅	文化・芸術の知識を高めるために優れた文化・芸術に接する機会を設け、町民の自主的文化活動の促進を図ります。	9月10日	白老ウポポイ	一般	16名	—	・博物館観覧 ・「アイヌの歴史と文化」ムービー鑑賞 ・カムイアイズ体験	多くの方が博物館は勉強になったと話しており、大人にとっても新しい発見が沢山見られた旅だったと思う。 児童、生徒と一緒にだったが、特にトアフルもなく無事に事業を終えることができた。	1 2 3 ④ 5
4	児童・生徒 文化・芸術鑑賞の旅	文化・芸術に触れる機会の少ない児童・生徒に対し、優れた文化・芸術に接する機会を提供することを図ります。	9月10日	白老ウポポイ	小学4年生 ～中学生	10名	—	・博物館観覧 ・「アイヌの歴史と文化」ムービー鑑賞 ・カムイアイズ体験 (児童9名、生徒1名参加)	博物館観覧では、ただ見て終わりにならないよう、感想を記入する紙を持たせ、気になったところなどを書き出して言うようにしたが、内容が少し難しかったからか少し飽きている児童も見られた。他の体験は楽しんで買えた様子だった。	1 2 3 ④ 5
5	文化講演会 (北海道巡回小劇場)	舞台芸術を鑑賞する機会の少ない町民に公民館等の身近な会場において、芸術鑑賞の機会を提供し、豊かな感性や個性を育みます。	—	公民館or改善センター	小学生 中学生 一般	—	—	隔年開催のため今年度は実施なし。	—	—

令和4年度

北竜町社会教育事業実施内容

図書館事業

No. 6

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	読み聞かせ教室	幼少期から図書に関心を持ってもらうため、未就学児を対象とした絵本等の読み聞かせ活動が必要となります。また、親子のふれあい、子どもの情緒教育など家庭教育の観点からも絵本を通して母親を対象に技術を習得してもらいます。	2月19日	図書館	未就学児 保護者	保護者 8名 未就学 児7名 原童2 名	町内の指導者 子育て支援セン ター 大友優子氏 山田玲子氏	家庭教育を兼ねて幼児に合わせた絵本の選び方、読み聞かせ方法を講習する。	今年も子どもたちの集中力を考慮し、1時間で実施した。今回も、絵本の読み聞かせの他に保護者が自身の子どもとお気に入りの絵本を紹介するコーナーなど、保護者同士の交流などが見られた。	1 2 3 4 ⑤
2	読み聞かせ事業	工作や読み聞かせを通して、子どもたちに図書館への関心を持ってもらい、またの利用に繋がります。	夏休み 冬休み 各1回	図書館	小学生中 心	児童 25名	司書・ボランティア	夏休み、冬休み期間中に各1回程度工作と読み聞かせを実施。 ・夏休み 飛び出す紙コップ工作 25名参加 ・冬休み 中止	夏は工作のみを実施した。ふれあい事業と同時に開催し、多くの子どもたちに本に興味を持って貰えるように取り組んだ。冬休みについては、予定していた時期にコロナの影響もあり中止することとなった。	1 2 ③ 4 5
3	読書週間事業	読書に親しみを持ってもらうため、本を読むきっかけ作りを行います。	4月23日 ～ 5月中	図書館	小学生中 心	延40名	司書・ボランティア	本を読んでスタンプを貯めるスタンプカードを配布。 5月いっぱい本を読んでもらい、スタンプが貯まったらグッズ引きで景品が当たるイベントを実施する。	イベント自体を知らない子どもも多く周知不足だった点があった。次回も同じような形で開催する。なら学校へ直接周知していく必要がある。 参加した子どもからは満足した様子が見られ、読書をするきっかけ作りにもなったと思う。	1 2 3 4 ⑤
4	リサイクル事業	蔵書点検に伴い休館となる期間も、町民に本に関した楽しみを提供します。	6月14日 ～ 6月19日	公民館玄関ホール (図書館 入口前)	全町民	約 50名	-	寄贈本、保存期間を過ぎた雑誌などを町民に供する。	前年度の反省を活かし、一人当たり持ち帰れる冊数の上限を設けることで、沢山の人が本を持って帰ってもらうことができた。	1 2 3 4 ⑤
5	図書館フェスティバル	利用者増に繋げ、足を運んでもらうきっかけを作るため、図書館フェスティバルを開催し、町民に身近な図書館となることを目指します。また、読書週間のため、多くの人が本を手取る機会となるよう、展示や読み聞かせも実施。町民文化祭の日に工作を行い、図書館に馴染みがない人にも気軽に図書館を訪れてもらい、次の利用を目指します。	10月下旬 ～ 11月下旬	図書館	全町民	工作 5名 イベント 22名	司書・ボランティア	期間中に工作、読み聞かせ等実施予定。 他に2週間通して参加できるイベントや展示を行うだったが、コロナウイルス対策のため、例年より縮小して行った。	密を避けるため、文化祭当日のフェスティバルは開催できなかった。また、読書週間の工作や、イベントは図書館に興味を持って貰えるよう、予定通り開催できた。	1 2 3 ④ 5
6	絵本作家講演会 代替 絵本の原画展	絵本作家本人による制作裏話や、絵本の読み聞かせを通して、子どもと本の出会いを提供し、読書の楽しさ・面白さを伝えたい。原画を見ることで絵本への興味を引き出します。	11月26日 ～ 12月7日	図書館	全町民	約50名	かとう まふみ (の原画)	絵本作家による講演、ワークショップなどをを行い、講演後は絵本の販売・サイン会を実施。 かとうまふみさんの絵本「みそこちゃん」の原画展を開催した。 (沼田・秩父別と合同)	今年度もコロナウイルスの影響により、絵本作家を招いての講演はできなかったが、沼田・秩父別と協議の上、代替事業として招く予定だった講師の絵本の原画展を開催した。 絵本に興味を持って貰うきっかけ作りにはなったと思う。	1 2 3 ④ 5

評価ランク 5 ～ 充分達成した 4 ～ 概ね達成した 3 ～ やや達成した 2 ～ 達成していない 1 ～ 取り組みなし

令和4年度 北竜町社会体育事業実施内容

社会体育

No. 1

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	キッズエアロビクス	近年、子ども達の運動能力の低下等が問題視されている。それらを改善するために幼児期よりしっかりと運動をする事により、運動神経の基礎をつくっていくことを助長する。また、集団で行うことにより協調性などの精神面の成長も助長する。	4/22 6/24 8/12 10/7 全4回	やわら保育園	保育園児 幼児とその親	13名 9名 7名 19名	ハーンナトレナー 旭川市 山田 道代氏 子育て支援センター職員	やわら保育園において園児と未入园児の参加親子を対象とした運動教室。年齢層に応じて体に無理の無い運動を積極的に実施。 キッズエアロビクス①②③④	今年度についても旭川市在住の山田道代氏に講師を依頼した。基礎的な運動「飛ぶ」等が事業の中につまこまれており、各クラス的能力に合わせて、子供達からも好評の中、実施する事が出来た。	1 2 3 4 5
2	町長杯町民パークゴルフ大会 教育長杯争奪町民パークゴルフ大会 議会議長杯町民パークゴルフ大会	誰もが気軽に、一人でもできるパークゴルフを通して、健康で明るく豊かな生活を目指すとともにスポーツに対する関心を高め、町民の体力の増進と意欲の向上を図る。	5/29 6/19 7/3	ひまわりパークゴルフ場	町民	49名 44名 41名	PG協会 教育委員会	各大会とも4コース36ホールによる、ストロークプレー、男女別個人戦にて実施。	今年度については新型コロナウイルス感染症に気を付け、天気にも恵まれて、無事に3大会とも開催する事が出来た。	1 2 3 4 5
3	陸上教室	スポーツインストラクターを招き、運動会陸上記録会前に走り方を学び、スポーツに対する関心を高め、意欲の向上を図る。	5/14	改善センター	小・中学生	18名	深川市 エフパシオ 北山 奈々氏	陸上教室 ・走りのフォームや足が速くなるコツを教わる。 ・身体のケアについて教わり、怪我防止の知識を学ぶ。	当日小学校のグラウンドで開催する予定だったが、天候不順の為、改善センター体育館で開催した。一つ一つの練習メニューがわかりやすく、どれも速く走る基礎として大事な要素が詰まっているため、小学生低学年から中学生までの学年に応じて有意義な時間となった。	1 2 3 4 5
4	夢の教室	「心のプロジェクト」を活用し、トップアスリートが夢を持つことの素晴らしさや、それに向かって努力することの大切さ。失敗や挫折に負けない心の強さを講師自身の経験談を元にそれらの大切さを学ぶ。	10/31	真竜小学校	児童・生徒	16名	湯田 友美氏	・対面事業からリモート形式に変更実施 ・夢先生の講話	小学5年生、6年生を対象に、湯田選手の自分が実業団に入るまでのエピソードなどを話して頂いた。運動に関わらず、将来の夢に向かって全力で挑戦して欲しいというお話は、参加児童の心にも響いたと思われる。	1 2 3 4 5
5	フットパス	金比羅公園の芝桜を楽しみながら、河川敷をウォーキングすることで、日頃の運動不足の解消と健康意識の高揚、健康づくりの習慣化を図る。	5/22 9/17	町内	小・中学生 ・成人	22名 22名	教育委員会	公民館から金比羅公園を往復するコース(約7km) 公民館からバスで移動し、北竜橋～筑紫橋の堤防約4.5kmを歩くコース	例年温泉から約10kmのコースとしていたが、幅広い参加者を募る為、距離を少し短くし、町民が集まりやすい公民館からのスタートとし、例年より多くの参加者が集まった。 例年より距離を短くし、コースまでバスで移動したこと、初参加者が多く集まった。次年度は町内に限らず、町外のコースも検討したい。	1 2 3 4 5
6	キッズアーク	水中ゲームなど水と親しむことにより、幼児期より水運動の関心を高め、水の楽しさや水難事故の防止を図り、かつ、心の発育や健康、体力づくりの推進を図る。	8/9	海洋センタープール	保育園児	—	B&G7カ7 インストラクター 藤信清彦氏	やわら保育園園児向けにアークアリズム運動をもちいらしてクリエイションを実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止	-

令和4年度北竜町社会体育事業実施内容

No. 2

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
7	B&G海洋センター事業 「わんぱく夏まつり、水辺の安全教室」	川の危険性を理解し、危険だから近づかないのではなく、子ども達自身が「自分の命は自分で守る」という意識を身につけ、安全で楽しく川辺で自然体験活動を行う。	7/18	海洋センタープール	小学生他	40名	B&G77 インストラクター 藤信清彦氏	商工青年部が実施している「川まつり」の中で実施する。水辺の安全プログラム(ライフジャケット浮遊体験、スローバック救助実演等)	今年度はB&G海洋センターでレクリエーションを実施した。プログラムの一つとしてライフジャケット、スローバックの体験を行った。子どもたちにとっては貴重な体験になった。	1 2 3 ④ 5
	初心者水泳教室	初心者水泳教室では、水に慣れ親しんで水への恐怖心を無くし、中級者水泳教室では、水泳技術の向上を図ると共に、体力増進・水難事故の危険回避能力を図る。	7月下旬 8月上旬 全2回づつ	海洋センタープール	小学生 低学年	—	B&G77 インストラクター 藤信清彦氏	対象が低学年であるため、初歩的な実技指導を実施(小学1・2年生)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止	—
8	中級者水泳教室				小学生 高学年	—		対象が高学年であるため、技術の向上を実技指導。(小学3年生以上)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止	—
	北竜町教育長旗争奪 北空知少年野球大会	少年が野球を通して技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な少年の育成を図る。	7/30	町営野球場	小学生	4チーム	深川地区軟式 野球連盟審判 団	北空知各野球スポーツ少年団チームを中心に招いて大会を実施。トーナメント方式による対戦。	全4チーム参加での開催となった。新型コロナウイルス対策の為、各チームに検温やアルコール消毒の徹底をお願いしたり、大会本部にてベンチ等の消毒の徹底をした。当日は天候にも恵まれ、白熱した試合が繰り広げられた。	1 2 3 ④ 5
10	水中レクリエーション大会	水中ゲームなど水と親しむことにより、海洋性スポーツへの関心を高めるとともに、健康づくりや体力づくりの推進を図る。	7/23	海洋センタープール	小学生	27名	B&G77 インストラクター 藤信清彦氏	数種類のレクリエーション競技を実施。	参加者を4チームに分けて、全学年で協力してレクリエーションを行った。当日は少し肌寒い気温となってしまつたが、子供達からは終始笑顔が見られた。	1 2 ③ 4 5
	北竜町130周年記念事業「巡回ラジオリレー」 みんなのラジオリレー	北竜町130周年記念として実施	8/8	ひまわりの里	全員	207名	かんぼ生命 NHK NPO法人全国ラジオリレー 実行委員会	NHKラジオ第1で全国に生放送されるラジオリレーの生放送をひまわりの里にて実施	当日は朝6時から開催となったが大変多くの人が参加を頂いた。電音から記念タオルを製作し、配布した。特に大きな問題は無く無事に体操会を終える事が出来た。	1 2 3 4 ⑤
12	B&G海洋レクリエーション体験	子ども達が普段体験する機会のない「海洋性レクリエーション」体験を通して、水遊びの楽しさを感じさせ、水難事故の防止を図り、子ども達が成長する過程で必要な体験の一助とし、また、集団活動での決まりや礼節、道徳心を学ぶことにより、社会性を習得させ、豊かな人間性の育成を図る。	未定	B&G海洋センター	小学生 高学年	—	海洋センター職員 北竜町B&G海洋センター指導者 会 藤信清彦氏 教委職員	○ カヌー・ローボート教室 ○ 礼節や集団行動の指導 ○ 洗浄・格納 ○ 海洋性レクリエーション体験 ※ 子ども会リーダーキーキャンプ事業行程 プログラムの一つとして実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止	—
	各少年団交流試合	深川管外の普段対戦する機会のない野球・バレーボール少年団チームとの親睦と交流により、心身の育成と社会性や豊かな人間形成の育成、技術向上に努める。	未定 未定	未定 未定	野球少年団 ハレ少年団	—	少年団指導者 外	北空知管外の少年団チームに訪問し、交流試合を実施。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止	—

令和4年度 北竜町社会体育事業実施内容

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
14	親子パークゴルフ教室	コミュニケーションスポーツとして広く親しまれてきたパークゴルフを子ども達にも広め、自主性、社会性を培うとともに、パークゴルフを通してスポーツの振興を図る。	10/2	ひまわりパークゴルフ場	小・中学生とその親	18名	空知教育局 教委職員	現地集合→開講式→PG場でのマナーについて→基本技能習得(サイング等)→親子PG大会。 参加者全員に昼食のサービス。	空知教育局より石川主事が講師として来て頂き、「家庭でできる運動習慣づくり」について講話を頂いた。講話終了後2種目のミニゲームと親子パークゴルフを実施し、親子の絆を深め楽しんでいる様子であった。	1 2 ③ 4 5
	「体験の風をおこそう」パークゴルフ・ニアピン・レクリエーション大会	「体験の風をおこそう」運動推進協議会の協力を頂き、親子PG教室終了後に3大会を開催し、各大会ごとに賞状・メダルの授与を実施。								
15	レッツゴーパークゴルフ大会	誰でも気軽にできるパークゴルフを通して、スポーツに対する関心を高め、体力の維持増進とともに健康で明るく豊かな家庭生活の一層の向上を図る。	10/2	ひまわりパークゴルフ場	成人	25名	教委職員	3コース27ホールによるストロークプレー、男女別個人戦にて実施。 参加者全員に昼食のサービスを実施。	親子パークゴルフと同時開催のため3コースでの開催とした。 例年用意している屋食が新型コロナウイルスの観点で中止となった為、閉会式終了後随時解散とした	1 2 ③ 4 5
16	ひまわりオリリンピック(旧老人オリリンピック)	高齢者になると集団で協力して活動する機会が少なくなりがちである。そこで、仲間と目的を持ち気軽に楽しく運動できることがこれからの生活にますます重要になってくる。仲間とともに楽しみ、交流を図る。	11/17	改善センター	高齢者	49名	スポーツ推進委員	7種目のレクリエーションと大抽選会の実施。ジュニアのサービス	参加者を3チームに分けて、新たに1つの新種目を旧種目と入れ替えて大会を開催した。大会ではケガが人も出ずに笑顔溢れるなか、仲間と親睦を深めている様子であった。競技終了後、大抽選会を行った。	1 2 3 4 ⑤
17	北竜ライオンズクラブ杯小学生バレーボール大会	北空知管内の小学生バレーボールチームの親睦と交流を図り、强健な心身の育成と技術の向上に努める。		改善センター	小学生	-	各チーム指導者外	深川地区各バレーボールスポーツ少年団チームを招いて大会を実施。	ライオンズクラブ解散の為中止	-
18	全町女性ミニバレーボール大会	気軽にできるミニバレーボールを通じて、中高齢者が明るく豊かな生活が送れるよう、体力の維持増進とスポーツへの関心を高める。	2/12	改善センター	女性	50名	スポーツ推進委員	参加チームを2クラス(A・B)に分けて優勝を争う	当日は7チームの参加があり、今年度はバレーゲームーナメント戦にて行った。幅広い世代の女性に参加を頂き、親睦を深めている様子であった。次年度については今年度の成績を考慮し、2リーグに分かれて実施したい。	1 2 3 4 ⑤
19	全町女性レクリエーション大会	町内女性が一堂に会し、相互の親睦と融和を図りレクリエーションで楽しみながら交流を図る。	11/27	改善センター	女性	-	スポーツ推進委員	6種目のレクリエーションと大抽選会の実施	コロナウイルス感染拡大防止の為中止	-
20	初心者スキー教室	児童数の減少と余暇時間の過ごし方の変化に伴いスキーをする機会が減ってきたように思われる。幼い頃からスキーに親しみ、興味を抱かせることにより、冬の健康づくりとスキー人口の底辺拡大を図る。	1/8(午前・午後) 1/9(午前・午後)	町営スキー場	保育園年長組・小学生1~3年生	17名	スキー指導員 委員会 指導員	○ スキーの履き方、脱ぎ方 ○ スキーを履いての歩行 ○ リフトの乗り方 ○ 滑り方	新型コロナウイルス感染症対策の観点上、2年間開催出来なかった経過から、小学3年生まで対象を広げて募集をかけた。保育園児と小学生1日ずつの開催に分けて行った。初めは滑るのもままならぬ子供達が殆どであったが、事業が終る頃には、殆どの子供が一人でリフトに乗れるレベルまで上達した。 今年度は碧水生きがいセンターの体育館にてフットサル教室を行った。基礎練習を行った後に、3チームでリーグ戦を行い、参加者にとっても冬の運動の運動不足解消になったと思われる。	1 2 3 4 ⑤
21	スポーツ教室	誰もが気軽にできるスポーツとして提供することにより、健康な身体づくりを助長し、あわせて冬の運動不足解消と体力向上を図る。	3/9	碧水生きがいセンター	成人	15名	スポーツ推進委員	誰でも気軽に参加できるような種目の軽運動を実施。		1 2 3 ④ 5

令和4年度 北竜町社会体育事業実施内容

No. 4

No.	事業名	趣旨(令和4年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
22	ヨガ教室	適度な運動を継続して行うことにより冬の間の運動不足解消・体型維持・血行促進といった効果を生み、参加者が健康的で生き生きとした生活が維持できるよう助長する。	2/22 3/1 3/8	公民館	成人	7名 8名 7名 延22名	大矢江利子氏	ヨガ教室	3日間開催し、ヨガを経験されていない新規の女性の方にも多く参加を頂いた。引き続き、参加者にヨガを通して健康づくりの知識や仲間づくりを広げ、社会参加を促していきたい。	1 2 3 4 5
23	第1回フロアカーリング大会	子どもから高齢者までを対象に「誰もが楽しめるスポーツ」として、幅広い年齢層のスポーツライフを豊かにする担い手として普及させていく。	3/15	改善センター	町民	13名	教育委員会	フロアカーリング	2人〜3人を1チームとして組み分けし、公式ルール(新得町)によせて試合を行った。氷上で行うカーリングが異なる箇所もあるため、動運いする参加者もいたが、試合が進むごとにルールに慣れて、老若男女誰もが楽しめたと恐われる。	1 2 3 4 5
24	スポーツ少年団本部	少年がスポーツを通じて技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な青少年の育成を図る。	通年		各少年団		教育委員会	少年団活動への支援。 (野球・バレーボール少年団)	例年同様、人数に応じて野球部とバレーボール部に助成金の支援を行った。	1 2 3 4 5
25	爽やかラジオ体操会	ラジオ体操は何の気兼ねも無く「誰でもできる体操」として一般的に広く知られていることから、早期のラジオ体操を生活習慣のひとつとして活用してもらい健康増進を図る。	6/13 ~ 9/9	公民館前	全町民	延べ 2,772 名	ラジオ体操愛好者	ラジオ体操会への支援。	6月13日〜9月9日までの3ヶ月間雨天を除き、毎日朝6時30分より実施。1日につき10Pの行政ポイントを付与することとし、沢山の方が継続的にラジオ体操に参加して頂けた。最終日には参加賞として飲み物と箱ティッシュ、子供選にはお菓子のセットを配布した。	1 2 3 4 5
26	体力・運動能力調査	北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課より、国民の体力・運動能力	10/31	改善センター	対象年齢者	5名	教育委員会	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び	該当年齢者5名の方に依頼して調査を実施。当日は怪我もなく、1時間程度で無事に調査は終了した。	1 2 3 4 5
27	トレニングルーム促進事業	改善センタートレニングルームにある機材を効率的に使用して貰うため、専門のトレーナーに指導や、自己の筋力等の数値化を実施し、参加者の健康に対する意識を高め、更なる利用者の増加を図る	5/17 8/23 11/22 2/21	改善センター	町民 (高校生以上)	11名 15名 15名 11名 延べ52名	札幌ダックス ポーツ 真杉 智数氏	トレニング機器の使い方講習会 個人の目標や能力に合わせたメニュー表の作成	普段トレニングルームを使用した事がない町民を中心に参加を頂いた。トレニングルームにある機器の使い方の説明や、自己の個人メニュー表の作成を行い、実施前に比べ、トレニングルームの利用者は増加した。次年度は参加者の運動モチベーションを上げられるように工夫をしたい。	1 2 3 4 5

評価ランク 5 ~ 充分達成した 4 ~ 概ね達成した 3 ~ やや達成した 2 ~ 達成に向けて努力している 1 ~ 取り組みなし

令和5年度（令和4年度事業）

外部評価（活動評価委員）意見総評

1. 学校教育の充実

1) 学校教育の充実

- ・学校間の連携を密に義務教育期間となる9年間を通して、北竜町ならではの特色がある一貫した教育を今後も推進するよう努めていただきたい。
- ・各学力テスト等の結果を分析し、児童生徒個々の学力向上に努めていただきたい。
- ・スクールカウンセラー制度を活用するなど、児童生徒の心の問題に関するケアや、いじめ問題に関する取組を引き続き積極的に進めていただきたい。
- ・体育等の授業以外においても、児童生徒の体力や健康な体づくりに向けた取組の推進に努めていただきたい。
- ・既に中学校の部活動については、他校と広域的な活動が進められているが、送迎に関する課題等を含め、北空知の教育委員会と協議検討を重ね、スムーズな部活動の地域移行に向けた取組を進めていただきたい。
- ・国際社会に対応できる人材の育成に向け、引き続き英語指導助手（ALT）を学校に配置するなど、外国語教育の推進に努めていただきたい。
- ・一人一台端末（タブレット）を活用した教育支援ソフト（ドリル学習）を家庭での学習活動に取り入れるなど積極的に進めていただきたい。
- ・給食費全額助成など、引き続き保護者の負担軽減となる各種支援事業を継続していただきたい。

2) 教職員の資質の向上

- ・教育振興会等の研修等を通じて、教職員の更なる資質向上に努めていただくと共に、道教委等が主催する各研修会等においても各校と連携して積極的に参加できる様な体制づくりの構築に努めていただきたい。
- ・教職員に対する服務規律の徹底及び体調管理等を含め、働く環境にも配慮した指導を進めていただきたい。

3) 学校施設・設備の整備充実

- ・引き続き、コロナウイルス等の感染対策とした取組の充実に努めていただきたい。
- ・学校活動が円滑に進められるよう、総合計画や公共施設再配置計画等に基づいた施設整備等を進めていただきたい。

令和5年度（令和4年度事業）

4) 開かれた信頼される学校づくり

- ・地学協働活動を視野に入れ、地域における学識経験者の方に協力いただき人材バンクを制作するなど、コミュニティ・スクール等において協議を進め、本町の特色や資源を有効に活用した学習活動の推進に努めていただきたい。

5) 総合的な子どもの安全対策の推進

- ・スクールバスの運用について、計画的な車両更新を含めた今後の検討を町部局と連携し進めると共に、見守りサポーター事業の再建を考慮しつつ、児童生徒の通学路の安全確保に努めていただきたい。

2. 生涯学習の充実

1) 社会教育施設の整備充実・有効活用

- ・小中学校同様、公共施設再配置計画に基づき計画的な施設整備の推進に努めていただきたい。

2) 生涯学習指導者の確保

- ・学校やコミュニティ・スクール事業等において協力いただける人材の育成確保に努めていただきたい。

3) 生涯学習情報の提供

- ・引き続き、広く生涯学習情報を発信すると共に、募集等のチラシについては、見やすく、目にとまるような紙面づくりにも努力していただきたい。

4) 生涯の各期に応じた社会教育事業の推進 及び 5) 読書活動の促進

- ・家族全員で参加できるファミリー向け事業の導入や、世代間交流事業となる「子どもと高齢者のふれあい事業」を引き続き進めていただきたい。

- ・情報通信の普及が進む中、ICT等に関連する講座等の必要性を強く感じており、町企画振興課等と連携し開催に向けた取組を検討していただきたい。

- ・第6次北竜町社会教育中期計画並びに第2次北竜町子どもの読書活動推進計画の最終年度を迎え、これまでの各種事業等における執行状況等について十分に精査し、町民の新たなニーズ把握を目的としたアンケート調査を実施するなど、次計画の策定に向け進めていただきたい。

3. 青少年の健全育成

1) 青少年健全育成体制の充実 及び 2) 非行防止活動等の促進 及び 3) 家庭・地域の教育力向上

- ・家庭、地域、学校、行政、警察等と協力し青少年健全育成活動を進めると共に、子ども達と一緒に育てるといった機運の醸成に努めていただきたい。

令和5年度（令和4年度事業）

4) 青少年の体験・交流活動等の促進

- ・新たな体験機会の構築など、今後も多くの青少年が参加できる事業推進を期待します。

4. 芸術・文化の振興

1) 文化芸術団体、指導者の育成

- ・既存団体の継続活動支援と新規サークル団体の育成に努めていただきたい。

2) 文化芸術にふれる機会の充実 及び 3) 文化財の保存・活用

- ・引き続き、優れた文化芸術作品にふれる機会の提供と、本町の重要的文化財となる真竜獅子舞（保存会）への継続支援に努めていただきたい。

5. スポーツの振興

1) スポーツ施設の整備充実

- ・各スポーツ施設個別計画を基に、計画的な管理運営と施設整備に努めていただきたい。

2) スポーツ団体、指導者の育成

- ・体育協会等の団体支援の継続と連携した指導者の育成に努めていただきたい。

3) 多様なスポーツ活動の普及促進

- ・フロアカーリングに続く、幅広い年代が参加できる様なスポーツやレクリエーション事業の企画に引き続き努めていただきたい。